

第 11 章 江川南遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

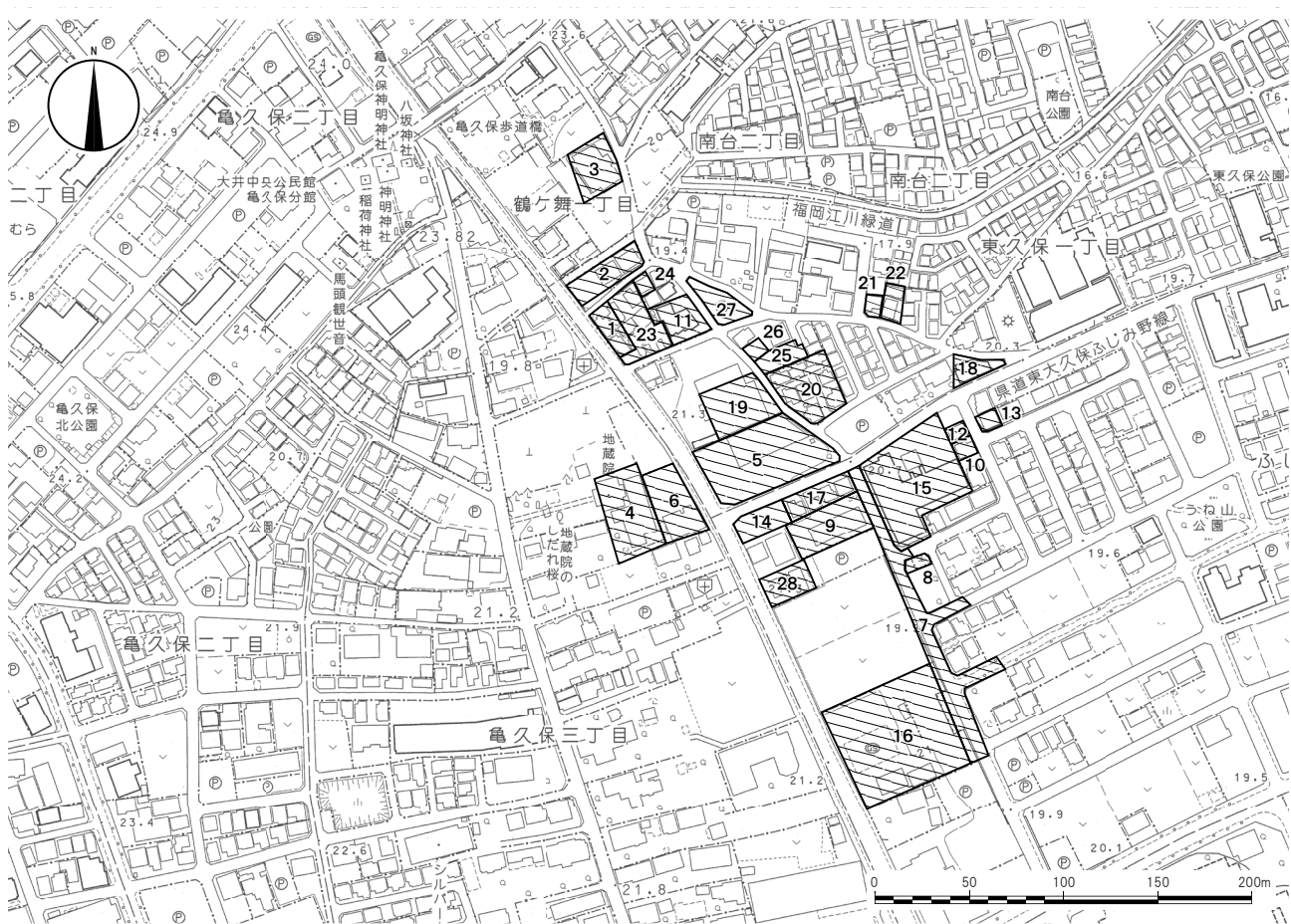
江川南遺跡は福岡江川の谷頭部から、約 300 ～ 500 m 程下った右岸に位置している。遺跡の標高は 20 ～ 21 m で、現谷底との比高差は 1 ～ 2 m を測る。福岡江川北側の左岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。東武東上線土福岡駅から約 1 km のため、昭和 40 年代から急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の対岸に亀居遺跡と鶴ヶ舞遺跡が位置し、東側に江川東遺跡が隣接する。

本遺跡は当初、地藏院遺跡と江川南遺跡であったが、平成5年に遺跡の変更増補を行い統一した。また平成9年には亀久保堀跡遺跡と江川南遺跡に分ける変更増補を行った。

本遺跡では旧石器時代の石器集中・礫群、縄文時代中期の住居跡・土坑など、古代～中世の堀跡、地蔵院に関わる近世の遺構群で、また時期は多岐にわたる。2020年4月現在、28地点で調査を行っている。



第 87 図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 46 表 江川南遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	亀久保 121-1	1977.8.30 ～ 9.30	64		町史編纂事業	縄文時代住居跡 1、ビット、縄文土器等		大史 7
2	東久保 1-120-3	(1990.5.28 ～ 31) 1990.6.1 ～	580		共同住宅	堀跡、礫群、縄文土器等		東部 XI
3	鶴ヶ舞 1-110-5	(1991.3.25)	646		資材置場	遺構遺物なし	鶴ヶ舞 3 地点として報告	町内 I
4	亀久保 192	(1995.8.28 ～ 9.21)	825		庫裏建設	縄文時代住居跡 1、土坑、井戸、焼土、縄文土器等		町内 V
5	東久保 1-194・195 の一部	(1996.8.5 ～ 8) 1996.8.20 ～ 29	2,092		店舗	ビット、溝、縄文土器等		町内 VI、大調 14
6	亀久保	(1985.10.17 ～ 11.8)	837		町史編纂	竪穴遺構、土坑、溝、池状遺構、磁器等	旧地藏院 1 地点	町内 V
	亀久保 3-193	(2003.4.16 ～ 24)	929	(10)	店舗	縄文時代住居跡 1、縄文土器等		町内 XII・市内 2
7	亀久保 196-1 他	1996.11.19 ～ 1997.2.13	1,322	1,020	区画整理道路	落とし穴、ビット、堀跡、溝、縄文土器等		大調 14
8	東久保 7 街区 1 画地	(1997.10.13 ～ 15)	50		墓地移転	落とし穴、ビット、かわらけ		町内 VII
9	東久保 1 街区 2・3 画地	(1998.10.6 ～ 9)	875	(875)	共同住宅	遺構遺物なし		町内 VIII
10	東久保 2 街区 9・10 画地	(1999.5.24 ～ 26)	133	(18)	個人住宅	遺構遺物なし		町内 IX
11	東久保 1-122-2・4	(1999.9.20 ～ 27) 1999.9.28 ～ 10.15	465	(150)	共同住宅	土坑、堀跡、溝、礫群、石器集中、石器等		大調 16、町内 IX
12	東久保 2 街区 4・5 画地	(1999.10.26 ～ 28)	104	(14)	個人住宅	遺構なし、縄文土器		町内 IX
13	東久保 3 街区 21 画地	(2000.6.7) 2000.6.8 ～ 21	123	55	個人住宅	集石土坑、土坑、縄文土器		町内 X
14	東久保 1 街区 1 画地	(2000.7.5 ～ 10) 2000.7.10 ～ 18	461	237	店舗	土坑、ビット、溝、柵列、縄文土器等		町内 X
15	東久保 2 街区 1 画地	(2000.12.8 ～ 26) 2001.1.10 ～ 19	2,375	1,050	共同住宅	土坑、ビット、堀跡、溝、柵列、縄文土器等		町内 X、大調 14
16	東久保 1 街区	(2002.9.24 ～ 10.4)	3,752	(326)	給油所	遺構遺物なし		町内 XII
17	東久保 196-1(1 街区 20・22・23 画地)	(2002.10.29 ～ 11.11)	474	(138)	土地区画整理	ビット、堀跡、溝、縄文土器等		町内 XII
18	東久保 285-51・52 他	(2003.7.11 ～ 16)	240	(56)	共同住宅	遺構遺物なし		町内 XII
19	東久保 1-185-1	(2003.9.18 ～ 10.8) 2003.10.10 ～ 11.14	1,129	(300)	店舗	掘立柱建物跡 1、土坑、ビット、堀跡、溝、礫群、炉穴、石器等		町内 XII・大調 20
20	東久保 1-183-5	(2005.8.1 ～ 12) 2005.8.18 ～ 9.10	951	300	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、集石土坑、土坑、ビット、溝、縄文土器等		大調 18・市内 2
21	東久保 1-29-1	(2006.10.11)	99	(24)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 3
22	東久保 132-11	(2006.10.11 ～ 11.6) 2006.11.7 ～ 9	208	90	分譲住宅	礫群、石器		市内 3
23	東久保 1-121-1	(2007.1.24 ～ 2.1) 2007.2.19 ～ 3.16	1,011	610	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、集石土坑、土坑、ビット、溝、礫群、縄文土器等		市内 3
24	東久保 1-122-5	(2009.12.4 ～ 10) 2009.12.14 ～ 28	178	(51) 66	分譲住宅	礫群、石器集中、集石土坑、堀跡、溝、縄文土器等		市内 7・8
25	東久保 1-183-8・13	(2012.7.4)	252.88	(50)	分譲住宅	溝、縄文土器		市内 15
26	東久保 1-183-14	(2013.9.24 ～ 26)	99.2	(22.5)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 18
27	東久保 1-123-1・2	(2016.7.19・20)	380.19	(62.35)	共同住宅	遺構なし、縄文土器		市内 24
28	ふじみ野 2-1-8・9	(2019.3.18・19)	436.17	(76.89)	建物解体	遺構遺物なし		市内 25

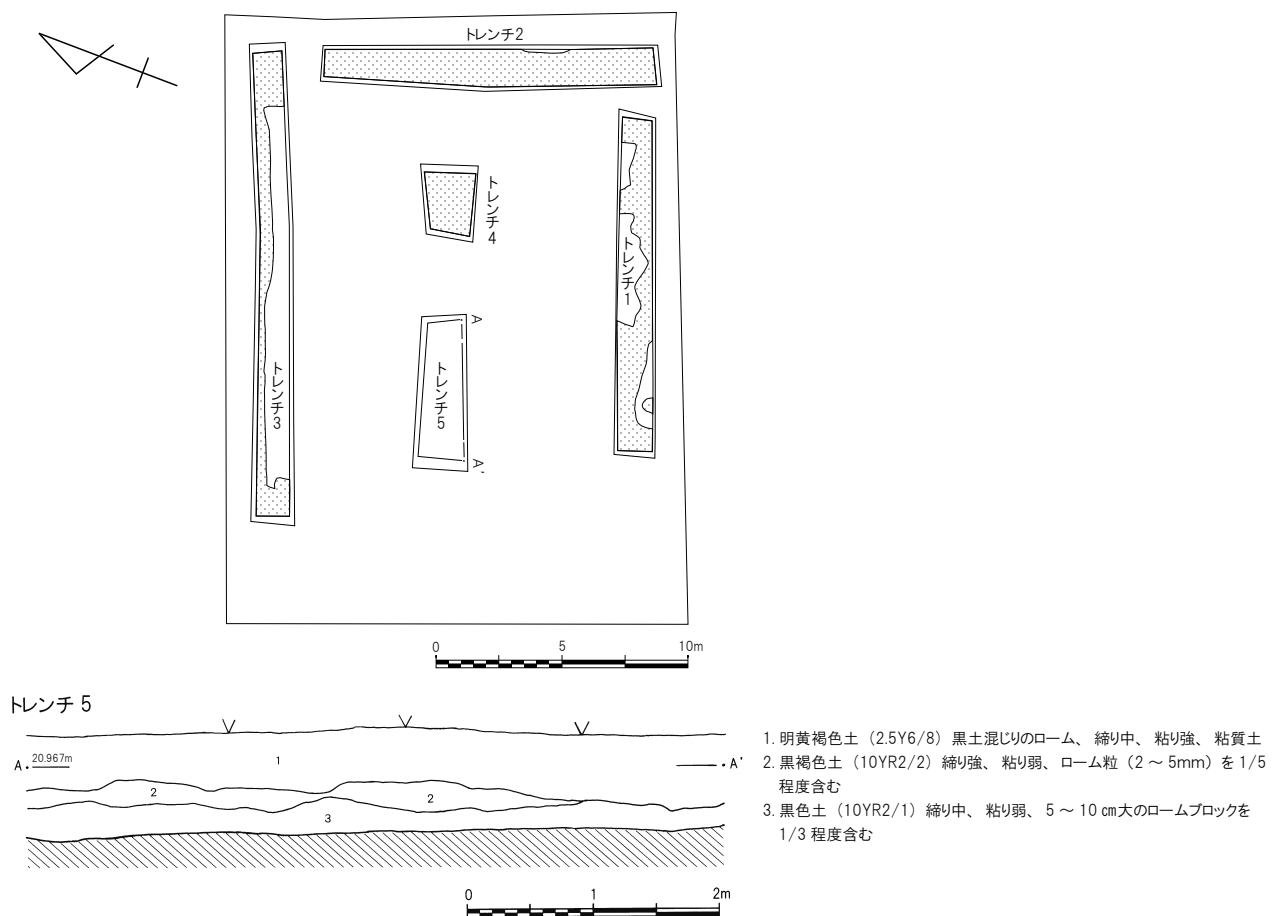
II 江川南遺跡第 28 地点

(1) 調査の概要

調査は建物解体工事に伴うもので、原因者より 2019 年 1 月 15 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2019 年 3 月 18・19 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1 ～ 1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ～ 70 cm である。

調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 88 図 江川南遺跡第 28 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)



江川南遺跡第28地点トレンチ5